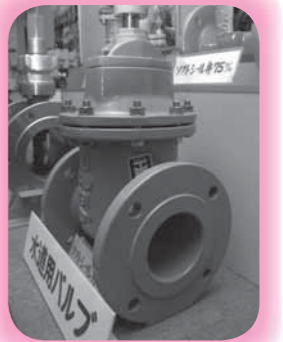


技術力で世界へ発信

現在、彦根バルブは、関連企業を含めて80〜90社で業界を形成しており、約1,500人の従業員が、バルブ製造に従事しています。生産高は、平成19年で約261億円です。

彦根で作られるバルブは、大きく分けると左の図のとおり、水道用、産業用、船用の3つの分野で使用されています。

また、バルブの生産には、ステンレスやアルミなどさまざまな原料を使用します。近年、部品や素材の海外調達も活発に行っています。



また、彦根バルブの業界の中には、中国、マレーシア、フィリピンなどに生産の拠点を設けている企業もあり、国内外を問わず、よりいっそう技術レベルの高い製品づくりに取り組んでいます。

彦根バルブの3つの種類

水道用

用途
上下水道、水資源開発、工業用水、農業用水

産業用

用途
製鉄、ガス、バルブ、ケミカル、食品、石油、電力、紡績、空調機器、水処理等プラント、油圧制御 ほか

船用

用途
タンカー、コンテナ船、客船、漁船、貨物船、自衛艦

新しい取り組み

エコな金属を共同開発



▲共同開発された「ピワライト」を使ったバルブ

JIS認定を受けると、一種のブランド化になるとともに、メーカーにとつては、安心して使用できるといふアピールにもなります。今後は、自動車産業など他業種からのニーズも期待されます。

古くから受け継がれてきた研究と研鑽の結果、エコが生活の主流となりつつある今日にも適応する新しい取組をしています。



▲初めて商品化された「ひこちゃんメタル」

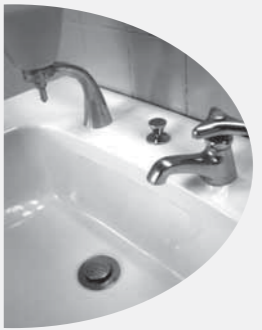
滋賀バルブ協同組合では、関西大学工学部、滋賀県東北部工業技術センターと共同で、鉛を使わない銅合金の研究と開発をしてみました。その結果、開発に成功した材料が「ピワライト」です。主な特徴は、従来と異なり、高価な化学物質を使わず作られるので、コストが少なくエコノミー（経済的）で、リサイクルが可能なので、エコロジイ（環境にやさしい）といえます。

平成19年に、「ピワライト」のJIS（日本工業規格）化への申請を行いました。その結果、日本工業標準協会での審議の結果、「ピワライト」のJIS認定が承認されました。

また、滋賀バルブ協同組合では、国宝・彦根城築城400年祭をきっかけにして、「ピワライト」を材料にした「ひこちゃんメタル」を製作しました。ひこちゃんメタルは、ピワライトを用いて初めて商品化されたものです（現在では生産されていません）。

これを知ってれば、
あなたもバルブ博士になれる!

「あー!」
ここにも「バルブ」



人の倍にもなる
バルブも作る

バルブは、色々な用途に使われますので、その大きさも小ささままで。小さなものは、バルブの口の直径が、約5cmのものから、大きいものは、約3mになるものもあります。人が簡単にくり抜けることができ、大きなバルブも彦根で作られています。

「バルブの日」を
制定する動きも

私たちは、バルブの中で生活しているといつてよいほど、実は身近な存在です。蛇口もそのひとつです。水を流したり止めたりする道具として非常に便利です。バルブは、水のような液体以外にも、ガスなどの気体の流れを制御する役目も持っています。

そのほかにも、ビルの中の上下水道や工場などの配管にも使われています。見かけることが少ない場所でも大活躍をしています。

バルブの知名度を社会に広めるために、「バルブの日」を制定する動きが、日本バルブ工業会の主催で始まっています。

「バルブの日」を制定し定着させることで、バルブ業界全体に対する社会の注目を集めようといつねに努力があります。

「地場産業」を のぞいてみませんか



彦根商工会議所1階の産業展示場では、ファンデーション(下着)、バルブ、仏壇などの製品が展示してあります。地場産業などの製品を、一度に見ることができません。ぜひお越しください。

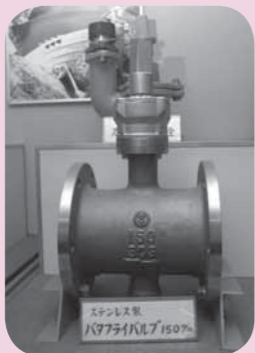
展示についての問い合わせ先

彦根商工会議所(中央町) 月、
金曜日(祝日・年末年始を除く)の
午前8時30分〜午後5時15分
☎22・4551番 FAX26・
2730番

ファンデーション



バルブ



仏壇

